

開催地名：広島県竹原市	
開催日時	令和4年11月5日（土） 10：00 ～ 11：30
開催場所	ピースリーホームバンブー体育館
語り部	吉田 亮一 （宮城県仙台市）
参加者	自治会，防災リーダー，関係団体 69名
開催経緯	切迫性が指摘されている南海トラフ巨大地震の発生により、市域では震度6強及び3メートルを超える津波が想定されている。瀬戸内海沿いの山陽地方では、これまで大きな地震や津波の経験がないことから、要配慮者等の避難対策を含めて、対応に不安な要素がある。特に地震等の大災害時の場合は多数の避難者が想定され、避難所運営体制の在り方は喫緊の課題となっているため、今回の語り部講演でご教授いただくこととしたい。
内容	<p>（１）自然災害に対する防災の基本</p> <p>自然災害は、人間には防ぎようがない以上、共存していかざるを得ない。人間には考えて行動するという能力があるので、災害について考え、行動に移していくことが防災の基本となる。その際、前提になるのは災害への危機感である。心配ない・あり得ない・大丈夫・まさかといった考えは慎んでほしい。ニュース・新聞等によく耳にする言葉に、「長い間住んでいるがこのような被害は初めてだ」とか、「まさかこんなに雨が降るとは」とか、「地震は来ない地域だったのに」といったようなものがあるが、防災は危機感と想定以上の備えが基本なので、様々な自然災害に備えて、全ての責任者は最大の危機感と想定以上の備えで命を守ることを意識していただきたい。</p> <p>（２）避難所運営について</p> <p>避難所にはいろいろな種類がある。比較的大きな広域避難所と言われるものもあれば、地域の集会所やコミュニティセンターを利用した地域の避難所、そして学校の体育館を利用した指定避難所等、それぞれの役割があり、あり方や利用するにあたってのルールもそれぞれ異なる。利用する住民と、市などの自治体や地区の自主防災組織等の運営側とで相談しながら、よりよい運営を目指していく必要がある。また、避難所の内容は場所によって全て異なり、一時避難場所、地域指定避難場所、広域避難場所、福祉避難場所等の種別がある。基本的には他所の方が「地域指定避難場所」には行ってはいけないことになっていて、あくまでも地域の方々が優先であるということを認識していただきたいと思う。そして、避難所へ運ばれてくる「救援物資」についても、まずは避難場所に避難してきている方々のためということであるので注意していただきたい。</p> <p>地域防災の「地域」とは、地域内すべてを指す。家庭保育園、保育園、幼稚園、学校、消防、警察、商店会、商工会議所、医療機関、高齢者施設、企業等すべてが地域防災に関係する。日本は小・中学校の学区体制が整っているため、学区ごとの防災が基本となる。従って、地域内の行政の様々な組織と連携するとともに、地域の学校との連携も必要である。特に学校は、災害時に指定避難所として開放されるケースがほとんどなので、学校での防災訓練の実施と、地域住民の参加が求められる。</p>

私は平成 18 年に町内会総括防災部長となって防災活動を開始し、共助としての防災を意識して様々な活動を行った。具体的には、まずは「防災マップ」の作成、次にマニュアルの作成を行った。さらには「自主防災組織」も作り、そして防災の勉強会の実施を経た上で、防災訓練を実施した。定期開催の防災訓練では、普段自宅や地域にいる大人や高齢者、小学生の子供を中心に行った。なぜなら、働いている大人の方々は、平日に地域に居ないケースが多いうえ、職場や現場等の復旧に駆り出されてしまい、あてにできないからである。

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災では、指定避難所の責任者を 17 日間勤めた。私の住む地域では全世帯が 5 日間停電し、ガスは 3～4 週間、水道は 2 週間止まったが、町内会で共助への活動を進めてきた経験が活かされ、指定避難所は全て地域住民主導で行うことができた。地域の小・中学生も個々に役割を与えられ、運営に貢献してくれた。

### (3) 災害に対する備え

東日本大震災以後、食料、飲み水については 1 週間分を用意しておくように案内している。災害が起こると、コンビニやスーパーの商品は品薄になってしまうので、少なくとも 1 週間分くらいの備えは確保してほしい。

お風呂の水は、断水になってしまったときにトイレの水として使用できる。いつも浴槽にお湯が入っているように習慣づけておくと、災害が発生したときに有効である。車のガソリンはこまめに満タンにすることを心掛けたい。

そして最後に、家族間での災害発生時の安否確認や連絡方法、非常用持ち出し品についての確認についても忘れずに実施し、日頃からの防災・減災に対する積極的な取り組みを推進していただきたい。



開催地より

東日本大震災以前に行われた災害に対しての準備や、その準備が活かされた避難所運営等について、とても分かりやすく説明いただいた。当市としては、南海トラフ巨大地震等の大規模災害に対する想定以上の備えと、平日昼間を想定した避難所開設訓練などに取り組んでいきたい。